

大島六丁目団地自治会創立40周年にあたって



大島六丁目団地自治会
会長 中島政幸

私たち大島六丁目団地自治会は創立40周年を迎えることができました。

1970年に1-4号棟、71年6月までに5-7号棟へ、全棟2880世帯の入居が完了し、71年12月に自治会が結成されました。以来40年、力をあわせてきた会員の皆さんといっしょに慶びたいと思います。

ふりかえってみますと、共益費問題での徹夜交渉と値下げ、約束違反の家賃値上げへ反対する大運動、家賃への消費税を止めさせたこと、定期借家の導入反対など、住み続けるために、必死になつて運動を続けてきた40年でした。

41回目のことしの団地まつりは、東日本大震災の関係で中止になりましたが、ふるさと大島六丁目団地のまつりとして、地域のみなさまに愛されるようになっていきます。

敬老のつどいやクリスマス会、もちつき大会、青空市など、居住者の交流と親睦をすすめています。

東京直下型地震も予測されるなかで、災害協力隊の皆さんを中心に準備をして多くの居住者が参加する防災訓練なども、助け合い、声かけあつて住み続けるために欠かせないことだと思っています。

六丁目団地自治会はまた、大島地域の自治会の皆さんとも協力し、そして23区や全国のUR住宅居住者の皆さんとも協力して、さまざまな取り組みをすすめてきました。

40年をかえりみまして、これまでお世話になつたすべての皆様にお礼を申し上げます。ご協力をいただいた関係官公署ならびに都市機構関係者の皆様にも改めてお礼を申し上げます。

都市機構の将来が不透明な中、居住者の不安は大きいものがありますが、私たち大島六丁目団地自治会は、安心して住み続けることができるように、全力をあげます。住んでよかったと思えるように、ともに頑張りましょう。

ずっと住み続けよう！

①「公団」を廃止！ 独立行政法人・都市再生機構（UR）へ

都市勤労者向けに良質な住宅を供給するという役割をもつて、日本住宅公団（1955年）↓住宅・都市整備公団（1981年）↓都市基盤整備公団（1999年）と歩んできた「公団住宅」。

2004年7月1日、ついに「公団」を廃止、独立行政法人の都市再生機構（UR）になり

ました。

2007年、政府の行政改革会議は独立行政法人の原則廃止・民営化を決め、URも民営化の方向で見直しを進めてきました。

しかし、私たちの運動で、「3年後に再検討」と、民営化・廃止を押し戻してきました。

②売却・民営化を許さない

政府による2011年の「事業仕分け」では、URの売却・民間移行などを打ち出しています。住宅は民間業者にまかせ、公団や公営の住宅事業は縮小・撤退するというものです。

しかしこの20年、国民の所得は増えていません。とくに高齢

者や子育て世帯は、住宅を確保できない人が増えています。

私たちは、全国76万戸の「公団住宅」と、200万人の居住者の生活を守るために、声を上げてきました。2011年、国土交通省は、URの賃貸住宅の民営化を、当面見送りしました。

③定期借家制度の導入反対

「公団住宅」（UR住宅）に入居する際に、「期限決め」の契約にする「定期借家制度」の導入を国土交通省とURは表明。大島六丁目団地にも、2009

年6月から導入すると言いましたが、まだ許していません。大家の都合で居住者を追い出せる制度ですから、私たちは断固反対です。

④家賃値上げ反対・2年半止める。

「3年ごとの家賃見直し」「近隣同種家賃にする」とする法律にそつて、2003年、2006年と連続して家賃を値上げ。続いて2009年から家賃値上げを計画しました。

しかし、居住者の大運動で、09年、10年と2年間、値上げをストップさせました。

2011年4月、値上げ通知がきましたが、半年間は値上げ免除、残り半年間は半額免除



というものです。

私たちは、「40年もたった団地の家賃値上げ反対」「収入に

見合った家賃制度へ」を訴えています。

⑤六丁目団地で23区の居住者集会

家賃値上げ反対、家賃制度の見直しを訴え、2008年10月12日、六丁目団地の中央広場で、23区団地居住者決起集会が開かれました。27団地から418名が参加。自民、公明、共産の各党議員が来賓挨拶。国会でも公団住宅を守る政党・議員の輪が広がりました。

江東区議会にも、江東区の公団住宅自治会の連名で請願書を提出。意見書が採択されています。

毎年12月には、署名を持ち寄って全国の居住者集会を行い、国会・本社要請行動を行っています。

⑥高齢者、子育て世代への減免措置

この間の運動で、高齢者や子育て世帯への家賃減免措置がつけられてきました。

また、リニューアルされた住

戸の「継続家賃」は、12万円台になっています。こうした「継続家賃」の高家賃化の見直しも必要です。

ずっと住み続けよう！



（※）居住者の生活実態

—2011年「団地の生活と住まいアンケート」より

- ◇60歳以上の世帯主が72%。70歳以上の世帯主は44%。20・30歳代の世帯主は8%。
- ◇居住者の年齢は、60歳代=25.3%、70歳代=24.8%、30歳代=11.2%の順に多く、20歳未満が10%です。
- ◇当団地に居住=25年以上が55%と半数を占める一方、5年以内の入居者が21%となっています。
- ◇世帯主の収入は、375万円以下が69%。たいへん厳しいものです。
- ◇家賃負担について「たいへん重い」=57%、「やや重い」=34.5%。91.5%の人が家賃負担が重く感じています。
- ◇今後も団地に住み続けたい=66.2%と、都営住宅を希望=21.2%となっています。

1 東日本大震災を経験して

2011年3月11日、M9.0を超える大地震と十数メートルの大津波が発生。東京電力福島第一原発の過酷事故も引き起こされました。

東日本大震災当日、六丁目団地では、中央広場に保育園児やインド人居住者をはじめ、数百人が一時避難。自治会では、3

号棟集会所を開放し、夜は四大小の体育館への自主避難を誘導しました。インド人居住者約100人が体育館で二夜を明かしました。四大小PTAの皆さんが炊き出しをしてくれ、インド人居住者は朝、体育館を清掃して、お礼をのべて、各家庭に引き上げたそうです。インド人家族の夫はIT関係の仕事で、当日はその多くが帰宅難民となり、残さ

れた夫人や子どもはたいへん不安になったようです。

当日は、会社から歩いて帰り、自動車も渋滞に巻き込まれて夜遅く帰宅した役員もいました。団地にいた役員、災害協力隊員の協力で、団地内を見回り、要支援の高齢者を訪ねて安否を確認しました。

団地内の被害は、1、2号棟の外階段や6号棟の内階段付近が壊れ、2号棟の商店前や3号棟の集会所前で、十数センチの陥没が起きました。各戸では、水槽の水がこぼれたり、棚の荷物や食器が落ちたという被害はありましたが、幸い、怪我等々の報告はなく、大事にいたりませんでした。

地震でエレベータが止まった

2 東京直下型地震に備えよう！

ために、車いすの居住者が上階の部屋に帰れなくなりました。

URの災害対策本部の皆さんの協力で、上階まで運ぶことができました。

東京をふくむ東海地震が30年以内に起きる確率は70%と言われています。東日本大震災や阪神・淡路の大震災でも公団住宅の建物は壊れなかったそうです

や緊急避難用の物資の準備も欠かせません。避難するときは、隣近所に声をかけましょう。安否を確認して中央広場に集まります（52ページ参照）。

地震に備える心の準備をし、
まずは我が身の安全を確保する
ことです。本棚等の倒壊防止策

自治会、災害協力隊に協力して、その指示にしたがって、落ち着いて行動しましょう。

3 真剣に防災訓練

六丁目団地では例年、11月の第二日曜日に行ってきた防災訓練ですが、東日本大震災をうけて、2011年は9月25日に、防災訓練が行われました。東日

本大震災での経験を生かした、真剣な訓練となりました。各号棟では声掛け避難訓練や、初期消火訓練、救護訓練などをしました。城東消防署、地域の消防

4 災害協力隊、防災アンケート
防災対策委員会、防災倉庫



団も訓練に参加して協力体制をとっています。

2009年には、四大サイズランドを会場に、江東区の音頭で、中央町会、六丁目団地自治会などが協力した大島地域の合同避難訓練も行いました。

六丁目団地では、1997年行っています。

に再組織した災害協力隊があります。自治会役員と有志約50人によつて本部が構成されています。各号棟に責任者がいて、フロアごとに班長がいます。

災害協力隊の防災アンケートで、支援を必要とする方の事前登録、ならびに災害時に協力ができる人と技能の事前登録を

自治会の問題別の対策委員会

として、防災対策委員会が組織され、防災訓練の準備や、団地の防災計画づくり、「防災通信」の発行等を行っています。

災害協力隊は、5号棟と6号棟に防災倉庫をもち、中には、備蓄品、種々の防災器具、湯沸し器具などが備えてあります。

5 防犯パトロール隊の結成と活動

江東区と城東警察署の要請もあり、六丁目団地でも、2005

年、防犯パトロール隊を結成しました。

6 おれおれ詐欺に注意

マスコミでも大きく報道された電話詐欺「オレ・オレ・俺だよ！」の電話が当団地にも掛かっています。

居住者の皆さん！
十分に気

7 交通安全パトロール

春と秋の2回、全国二斉に行われる交通安全運動に、六丁目団地自治会も参加しています。松坂屋ストアの新大橋通り交差点にテントを張り、自治会役員と

高齢者の会（ときわ会）の協力で
延べ40～50名が参加し、交通安全
全をアピールします。

春の交通安全運動（4月）10日間
秋の交通安全運動（9月）10日間

目付地周辺をパトロールします。

◎歳末パトロールの実施

地域自治会
町会の歳末パ
トロールに二
大中PTAが
協力・参加す
る形で、年末
の数日間、「火
の用心」を呼
びかけて回り
ます。



ご利用下さい サポートグループろくだん —会員同士の助け合い活動—

申し込み先

申込み方法等、詳細は自治会事務所までお問い合わせ下さい。

利用料金 1回 300円(30分～1時間30分以内)
利用内容 イ、買い物 ロ、掃除・洗濯 ハ、食事づくり
 ニ、通院の付き添い ホ、薬の受け取り ヘ、家具移動
 ト、小修理 チ、電気器具の取替え リ、話し相手
 ス、散歩・外出の付き添い ル、初心者パソコン指導
 ヲ、子守り等幼児の世話 ワ、その他(裁縫、日曜大工、アイロンかけ、囲碁)
利用時間 原則として、午前9時～午後5時まで
 (年末・年始・祝日は休みます)

青空市は自治会の福利厚生活動の一環として、会員居住者に良品をより安く提供します。青空市の開始は1971年で、当初朝市として発足し、今年で41年になりました。開催規程により開催日は毎週日曜日とし、第5週は非開催とします。業者は出店申請の登録品以外の品物を販売することを禁止し、毎月1万円の協力金を自



JSとのタイアップでたみみの表替え、補助錠の設置、インターホンの設置、多機能洗浄便座の取り付け等を行っています。この期間は特別価格になり、出張費は無料になります。また、事務所では浴室排水目皿、浴室排水ワン、玄関灯グローブ等の物品販売も行っています。

2008年11月、会員同士で助け合う、「サポートグループろくだん」が誕生しました。3年越しの準備が実りました。高島平三丁目団地の「助け合いの会」を視察し、資料をそろえ、会員アンケートも実施。協力者が多数だったこともあり、発足にこぎつけました。

会則で「利用内容13項目」、「利用時間1時間30分まで」、「利用料金300円」を決めました。利用者から連絡を受けた世話人(3人)が、登録者リストの協力者(31人)に依頼。発足して3年余り、事故もなく、利用者の「ありがとう」の言葉に支えられています。

3 サポートグループろくだん

4 灯油販売

自治協参加の4団地で業者を選定し、共同購入により安く安定した価格で提供しております。6号棟・5号棟・松坂屋ストアの横で現金販売を行っています。今年冬の節電に向けて、石油ストーブの需要が多くなるのではと、それに伴い価格の高騰が懸念されております。

5 網戸共同購入・JSとのタイアップ事業

2008年に各号棟順次ベランダのアルミサッシの取替えが行われ、網戸の共同購入を行いました。市場価格より安く、また自治会員には1000円安く取り替えてもらっています。現在までに1000件をこえています。



2010年高齢者アンケート

- 問1**
 お一人でお住まいですか (27%)
 ご家族とお住まいですか (60%)
- 問2**
 現在お仕事をしていますか
 (はい14%) (いいえ85%)
 お一人で買い物にでかけられますか
 (はい87%) (いいえ11%)
- 問3**
 悩みなどを相談できる方がいますか
 (はい79%) (いいえ18%)
 民生委員や区役所等に相談したい事がありますか
 (はい13%) (いいえ83%)
- 問4**
 介護訪問ヘルパーが来ていますか
 (はい10%) (いいえ89%)
 デイサービスに行っていますか
 (はい6%) (いいえ92%)
 区役所等からの支援サービスを受けていますか
 (はい9%) (いいえ89%)
 助け合い活動「サポートグループろくだん」を知っていますか
 (はい48%) (いいえ52%)

入居開始から40年がすぎた当団地、世帯主の72%が60歳以上という、高齢化社会になっています。孤独死、無縁死が社会問題になっています。会員同士が声かけ、助け合いができる団地にしましょう。

毎年、10月に「敬老のつどい」を行っています。2009年には新型インフルエンザの流行のために、つどいは取りやめになりましたが、2010年からは70歳以上の会員を招待して300人近い参加者がつどいます。

2010年、高齢者アンケート調査を530人に行い、回収率84%でした。主な内容は、「ひとり暮らし」27%、「家族と同居」60%、「就労者」14%。「二人で買い物ができる」87%、「相談相手がいる」79%、「公的支援サービスを受けている」25%。

この調査結果をもとに、公的機関とも連携をもち、自治会活動に生かしていきます。

1 敬老のつどい

2 高齢者アンケート

声かけ、助け合い！

住環境をよくしよう！

① 来客駐車場を確保

2003年7月1日から念願の来客駐車場を確保することができました。当初3カ所でスタートしましたが、現在5カ所に増えています。



② 団地の外壁修繕・住戸内外塗装

2005年から順次に

築35年になった2005年、六丁目団地の外壁修繕・塗装が2号棟から順次始まり、3年がかりできれいになりました。

団地内に号棟や集会所の案内板が立ちました。また、駐車場の二層化も行われました。2008年からはベランダ側のアルミサッシの取り換えが順次行われました。自治会は網戸の共同購入を行っています。



③ 管理業務の民間委託、清掃業務の競争入札

URになって、住宅の管理業務の民間委託が2006年から始まり、住宅管理協会が受託。2011年からは「ティービーケー」が3年契約で受託。清掃業務は、JSが3年間契約で受託。それぞれ契約を優先して、入札額を引き上げています。「安からう、悪からう」にならないように、注視しましょう。

④ リサイクル運動、リサイクル還元品

自治会は、江東区と協力して、リサイクル運動に取り組んでいます。92年から月2回（第2・第4火曜日）古紙等の回収を行っています。

江東区から報奨金がでますので、94年からリサイクル還元品を各家庭に配布してきました。2001年からは、トイレツトペーパーや防災用品など、定価数千円のをリサイクル還元品として、屋外で配布。自治会



⑤ ゴミ置き場に力ギ。不法投棄対策。放置自転車整理。

2004年からゴミ置き場に力ギをかけて、外からの投棄やゴミあさり防止に効果がありました。

粗大ゴミの外からの投棄、引越時の投棄で、その処理のために共益費が相当額使用されて、問題になりました。各階、各号棟の放置自転車

整理を、自治会が中心になって行ってきましたが、近年は、管理事務所が年1回程度、共益費を使って行うようになってい

⑥ 2号棟、松坂屋前の放置自転車

2号棟の周囲に、通勤・通学や江東病院の来訪者の自転車があふれる事態に、「六丁目団地自転車シール」の発行や、朝の時間帯に人員を配置して駐輪を止めさせるなど、対応を行いました。松坂屋周辺の自転車についても、管理事務所・松坂屋・自治会の三者で協議・対応を行っています。

⑦ 共益費値下げさせる

共益費は第2家賃とも言われますが、自治会もその使い方をチェック。約1千万円の繰越金があることを踏まえて、2008年4月から400円値下げさせました（月額3800円↓3400円へ）。さらに、2011年4月から清掃業務を受託したJSの清掃見積額が下がり、さらに600円の値下げ（月額2800円へ）を実現しました。

⑧ 緑のカーテンや清掃デー

2011年には、URは希望者80世帯にゴーヤのセットを配布。緑のカーテンで涼しい生活をと呼びかけました。

江東区の春・秋の一斉清掃デーに、六丁目団地でもとりくんでいます。

手入れをしています。



住環境をよくしよう！





4 クリスマス会とイルミネーション

毎年12月23日、幼稚園、小学校の子どもたち、インドや外国の子どもたちも交えて、クリスマス会を行います。ジュニアリーダーの皆さんとゲームをし

たり、ときには演劇、朗読、パネルシアターなどを行います。広場の時計台には大きなクリスマスツリーのイルミネーションを飾りつけます。

親睦・交流・国際化！

1 団地の夏まつり

1971年、入居開始から1年目に団地まつりがスタート。いまでは大島地域でも最大の夏まつりとなり、近隣のみなさんからも親しまれています。



2011年、東日本大震災を受けて、哀悼の意を表し、準備や電力問題もあつて、団地まつりを中止しました。ふるさと六丁目団地のまつりだけに「残念」という声が上がりました。自治会は、創立40周年記念の住民のつどいを、秋まつりの位置づけで、にぎやかにとりくみました。



2 秋のフェスティバル・フリーマーケット

例年、10月中旬に、秋のフェスティバルが行われ、20店以上のフリーマーケット、写真、ちぎり絵、絵画の展示、折り紙教室、ショッピングセンターとも協力した模擬店など、居住者の皆さんに大人気です。

3 もちつき大会

12月の第2日曜日、中央広場で、恒例のもちつき大会が行われ、会員の皆さんに餅を配ります。サークルの皆さんの協力で、毎年約100キロの餅をつきます。



5 バスツアー

3月の最終日曜日、自治会の企画として、近年はバスツアーが定着した感があります。自治会の補助もあり、会員は安価で参加できます。花摘みや豪華な食事、海産物等の買い物が楽しめる、日帰りのバスの旅を楽しみます。

2011年は、直前に発生した東日本大震災をうけて中止し、企画費は義援金として寄付しました。

6 こいのぼり

5月5日の子どもの日、節句を前に、4月最終の日曜日に、こいのぼりをあげます。空高く泳ぐこいのぼりは、初夏の風物詩です。

7 七夕まつり

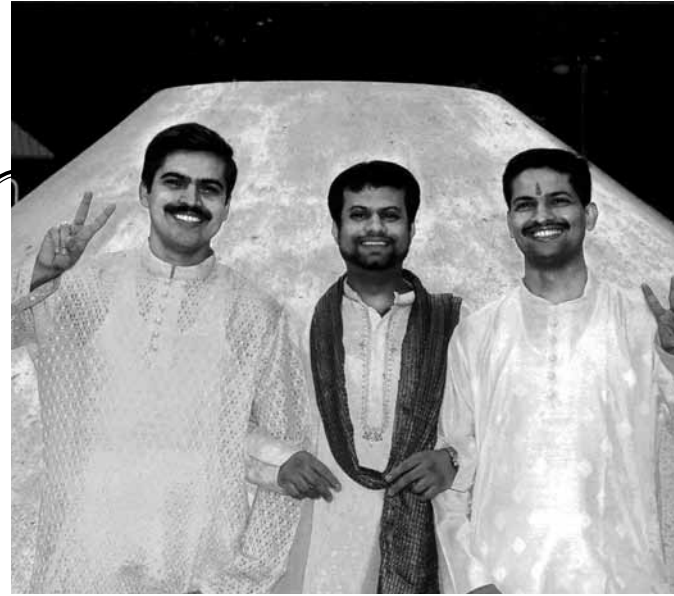
短冊に願いを書いて、2本の笹竹につるし、自治会室の前の玄関に飾られます。インドの子どもたちも参加します。



インド人居住者と共に！

04年ころから外国人居住者が増え、生活習慣の違いなどから苦情がふえていました。

そこで外国人居住者とコンタクトをとりたいとKさん（当時広報部長）が発意。2006年8月6日、インド人のG氏（7号棟）、S氏（6号棟）と自治



会室で懇談。インド人世帯の事情を聴くとともに「停電、水道工事などのお知らせは英語で書いてほしい」等の要望がありました。

2007年6月の「みんなの会報」でSさん一家の取材記事に掲載。六丁目団地のインド人家族は25家族でした。

2008年4月、N、H、Yの3人が自治会役員に立候補しました。

「インド人役員」に注目が集まり、取材が集。『団地新聞ザ・ニューキー』『江東区報』『朝日』『東京』『日経』『産経』、雑誌2誌、テレビ局3局、映画製作会社2社：等々。この頃50家族を超えています。2010年2月、葛飾区で行われた外国人との共生をめざすシンポジウムに六丁目団地の自治会会長とNさんがパネラーとして参加しまし

た。

インド人の大島地域居住者は、区民センターなどで年1回「新年のお祭り」を行います。2010年1月30日、区民センターで「スアガタマ2010」が行われ、江東区長や六丁目団地自治会の会長も来賓で挨拶しました。

東日本大震災ではインド人



のグループが、宮城県亘理町での救援ボランティアに取り組み、3カ月でのべ500人規模で参加。当団地の役員Nさん、Hさんなど10人も参加しています。

自治会は英語での自治会紹介、入会申し込み書などをHPに乗せています。



団地のサークル、団体

囲碁クラブ

30周年記念誌の記事にも載せましたが、囲碁クラブは自治会の発足とほぼ同じ時期にサークルとして活動をはじめましたが、会員が集まらず、苦勞を致しました。

今は、毎月の日曜・祝日と年末年始にかけて7日間、午後3時より7時まで、例会を5号棟



集会所洋室で開催しています。

活動費は会員より徴収の会費（半年1500円）と自治会よりの助成金にて賄っておりま

す。今年度は団地まつりも開催されず、これといった活動を行っていませんが、会員だけで大会開催をしたいと思っています。

大島シックス（成人野球）

成人野球チームは、団地自治会ができて1年後の1972年に設立。早起き会のメンバーから生まれて、こととして39年になります。当時からメンバーの多くは後期高齢者になり、団地に残っている人は少なくなりましたが、日曜日の朝8時から、中央広場を使わせていただき練習を続けています。

いまは、2代目、3代目のメンバーをくわえ30代から70代まで

の28人が、大島・亀戸地域の野球チームでつくる「城東球友連盟」に属して、年間12試合のリーグ戦を行うとともに、江東区民大会にも出場しています。

野球を楽しむことをモットーにしています。団地まつりやもちつき大会、鯉のぼり揚げ、団地清掃デーなどに参加しています。

大島タイガース

大島タイガースは、小学部が73年に、中学部が85年にそれぞれ発足し、六丁目団地や近隣の子を多数預かり、長年活動を続けております。

チームワークが大切なスポーツを通して、団体生活を送る貴重な体験を子どもたちに与えられたらと思っております。

活動場所が、どんどん減って苦勞しておりますが、皆様のご



協力のもと、今後も続けて行けたらと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



室です。
現在は60名の子どもたちが元気に遊び、友だちとの触れあいを楽しんでいます。保育者は幼稚園教諭経験者や資格者です。
自治会主催の団地まつりやも



江東区立大島六丁目学童クラブは、保護者の就労等により放課後家庭において保護を受けられない小学一年～三年生

大島六丁目学童クラブ

ちつき大会等に、こばとも参加しています。これからも団地のサークルとしてよろしく願っています。

日頃より元気でにぎやかな子どもたちに、多方面よりご理解・ご支援頂き、感謝しております。
共同学童クラブは、現在小学校1年生～6年生まで43名が登室し、毎日元気に過ごしています。放課後の安全と健全育成を目指す父母運営の学童クラブです。

共働き家庭・少子化社会の中、地域が助け合う心を養い、

大島六丁目共同学童クラブ

を対象に、放課後から17時（延長児童は18時）まで、過ごしている施設です。
今年度は35名でスタートし、毎日楽しく過ごしています。中でも、子どもたちが大好きなのが公園遊びです。季節を感じながら、また地域の方に見守られながら安全に遊べるこの場所は、いつまでも大切にしていきたいと思っています。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



大きな第2の家庭として親子で成長していける場と考えています。
今後ともよろしくお願い致します。



若竹太鼓

日頃は暖かいご支援とご協力を賜りましてありがとうございます。

当会では小学1年生から社会人までの幅広い年齢層で活動しておりますが、練習日では大きい人たちが来るまでその場にいる一番大きい子どもが下の子どもたちを指導致します。いつでも機転がきき、気配りのできる人に成長してほしいと願っております。
今後とも太鼓を通じて多くの方たちとのふれあいを大切に、精神、技術に精進してまいります。

ひよっこ保育室

子どもを産んでも働き続けたいというお母さんたちの願いから、ひよっこ保育室は生まれました。家庭と保育者と一緒に育てる保育室を目指し、産休明けから2歳までのお子さんを保育しています。

いつも、団地の中をお散歩し公園で遊ばせていただいています。たくさんの方の声をかけて頂き、暖かく見守っていただき感謝しています。これからも、



皆さんとの交流を大切にしていきたいと思えます。どうぞ、よろしく願います。

大島第三保育園父母の会

団地内の公立保育園として、団地住民の皆さんに暖かく見守っていただいております。

父母会は、自治会の青少年・文化部に所属しており、団地の行事に参加しながら、地域に根ざした活動を行なっています。

こばと幼児教室

こばと幼児教室は六丁目団地住民の皆さまと自治会のご支援をいただきながら、保護者が運営している3歳児対象の幼児教



この活動を通して、団地住民との親睦をはかり、築き上げられた信頼関係のもと、子どもたちが安心して生活していることを日々実感しております。
今後ともよろしくお願い申し上げます。



全国自治協に加盟している、東京23区内の32団地自治会で構成しています。年一回の総会と、2カ月に1回のブロック会議（六丁目団地自治会は東ブロック）を開いて、情報や運動の交流を進めています。ハゼ釣り大会や囲碁・将棋大会なども開催。当団地の中島会長が、事務局長を担当しています。

各種団体協力委員

※個人情報保護の観点から、伏せさせていたいただきました。

高齢者のみの世帯が増えてきました。安否確認訪問や見守りなど、また、変化の激しい子どもたちの問題を含め、行政とのパイプ役として日々活動している民生

児童委員を、六丁目団地としてもこれまで以上に応援していきたいと思っています。地域の協力委員の名簿を参照ください。

4 全国公団住宅自治会協議会 （全国自治協）のなかま

全国公団住宅自治会協議会（全国自治協）は、1974年（昭和49年）創立。加入団地自治会数1250自治会。加入団地の総戸数126万5000戸です。全国的に共通した課題と要求で団結した運動をすすめる、公団住宅居住者の生活と権利、共通の利益をまもり発展させて、豊かで住みよい団地をつくることを目的としています。

5 東京23区公団住宅自治会協議会 （23区自治協）のなかま

全国自治協に加盟している、東京23区内の32団地自治会で構成しています。年一回の総会と、2カ月に1回のブロック会

地域のみなさまとともに

人は人と関わりながら成長していくといわれています。六丁目団地も地域のみなさまと関わりながら成長してきたと

2 小中学校とPTAのみなさん

団地の子どもたちが元気に通う学校は第二大島小学校、第四大島小学校、第二大島中学校の3校があります。多様化する社会の中で、いかにして子どもたちが安心して遊べる環境を守るかをねに話しあっています。学校は避難場所にもなりますが、常日頃から協力の関係を深めています。それとともに各PTAと、夏と冬のパトロールなどを通して、地域に戻った子どもたちの安全を主に、その行動を見守っています。とくに二大中教賛会の一員として、中学生の健やかな成長のために協力をしています。二大中学区の地区懇談会などで、PTAや近隣町会、あるいは警察署や消防署などとも協力をして、生徒の健全育成のために努力をしています。その他、子ども関係では「大島地区子ども会連合会」があります。毎年、夏休みのキャンプなどではジュニアリーダーの指導の下、自然と向き合い、またルールを守る大切さを学んでいます。

3 民生児童委員のみなさん

高齢者問題および子どもの問題で、良き相談者である「民

まずは、集合住宅の居住者でつくる「大島地区自治会連合会」です。加入団地は、分譲住宅の大島三丁目団地、公団住宅の四丁目団地、六丁目団地、シティコート大島、七丁目団地の4団地自治会。くわえて、四丁目、五丁目、六丁目、八丁目にある都営住宅の8自治会をあわせた13団体が加入しています。集合住宅のよりよい環境を守り、それぞれの問題の解決に向けて行動しています。その環として、大島選出の区議会議員との話し合い（勉強会）を年に1回、行っています。江東区内には272の町会、自治会がありますが、自治会連合会をつくっているのは大島地区だけです。次に、地域の先輩でもある三丁目町会と中央町会には、「団地まつり」「防災訓練」など様々な協力をしていただいています。町会が育んできた町の歴史を踏まえて、次世代へとつなげる新しい歴史を一緒につくっていききたいものです。大島地区自治会連合会と大島町会連合会は協力をして大島区民まつりなどを行い、住みよい大島地域づくりに努力をしています。

1 大島地区自治会連合会のなかま

自治会活動について

① 創立40年を迎える自治会の役割

六丁目団地自治会も結成40周年を迎えます。世帯数2800世帯を超える大きな集合住宅で組織率も84%を超えていて、住民が皆一致団結して色々な活動を行っているのはここ「大島六丁目団地自治会」ではないかと自負しています。

地域の中での役割も大きく、大島地区の地域の中心的役割を果たしています。さらに、全国の公団住宅に住む集合住宅の連合組織である「全国公団住宅自治会協議会」でも大変大きな影響力を持っています。

② 家賃値上げと高齢化問題

我々は地域の町内会や都営住宅の自治会とは役割が大きく異なっている点は、大家がいて、その大家は数年毎の家賃値上げを法律で強制されているという点が大きな違いです。

この10年間で大きな変化が社会の中や六丁目団地でも起きています。一部には法人の社

宅として利用されている住居もあり、一部の外国人居住者とのコミュニケーションに苦慮するなどの問題もあります。更に居住者の高齢化の問題や介護福祉の問題。自治会役員全体の高齢化の問題。住居内外環境の改善、ゴミ処理、防災対策、ショッピングの活性化、

③ 全員一致の「棟代表者会議」

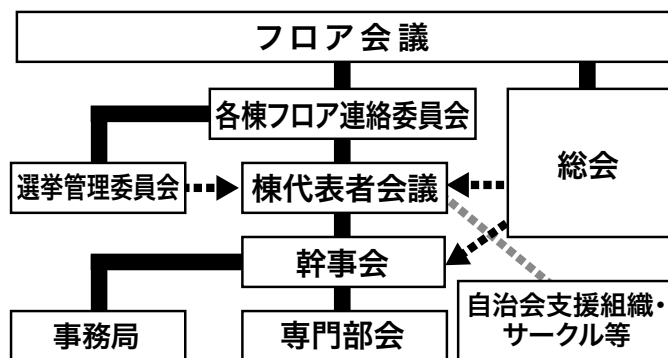
六丁目団地自治会では毎年春に、棟代表者の選挙を行い当選した代表者の中から毎年、会長職を含め各役職者を選出しています。「棟代表者会議」で出来るだけ全員一致の合議制で物事を決め、自治会の運営や1年間の活動予定など重要な事項を決めています。これからの自治会の50周年、60周年を迎えるにあたり大きな力になる若い世代の立候補を望んでやみません。

青空市業者の選定など、問題が山積です。

特に家賃問題は、若い世代は家賃が高いため、周辺のマンションへ引越してしまいうなどの高齢化の原因にもなっている

ます。家賃問題は「我々の生活権の侵害で許す事は出来ません。」これは違法行為なのです。「我々は収入に見合った家賃制度」への変革を求めてこれからも活動をしていきます。

大島六丁目団地自治会組織図



自治会各部の運営

組織名称 (自治会の機関)	構成員	役割
フロア会議	自治会員	①総会代議員の選出 ②フロア連絡委員の選出
各棟フロア連絡委員会	①フロア連絡員 ②棟代表者	①棟代表者選挙管理委員の選出 ②棟代表者候補の選出 ③棟代表者へ意見提出
選挙管理委員会	委員長 委員	棟代表者の選挙の告示、その他事項
総会	総会代議員及び 棟代表者	①活動計画。予算の決定 ②棟代表者・幹事会メンバーの承認 ③活動報告・決算報告の承認 ④会則の決定・改廃 ⑤会計監査委員の選出
棟代表者会議	棟代表者	①幹事会メンバーの選出 ②重要事項の審議決定 ③総会議案の作成 ④専門部会事務局の事業計画と管理⑤事務局、事務員の承認と待遇決定⑥フロア連絡委員会へ報告 ⑦専門部会メンバーの選出
幹事会	会長 副会長 事務局長 事務局次長 各部部長	①棟代表者会議の招集・運営 ②棟代表者会議の議案作成
事務局	会長・副会長 事務局長 事務局次長（庶務） 事務局次長（会計） 事務員	①日常業務の遂行 ②自治会会計業務の遂行
専門部会 (生活・環境部)	自治会員	環境問題・青空市・サポートグループ・灯油
専門部会 (青少年・文化部)	自治会員	もちつき大会・秋のフェスティバル・クリスマス行事・こいのぼり・七夕・新入学・成人のお祝い
専門部会 (防犯・防災部)	自治会員	春・秋の交通安全運動、夏・冬パトロール 防災訓練・防災通信発行
専門部会 (広報部)	自治会員	「みんなの会報」の発行・ホームページ管理
防災対策委員会	災害協力隊	防災訓練の実施 災害時の自治体への協力

④ 自治会の広報活動

自治会「みんなの会報」の題字を2006年の1月号（215号）から、毛筆の題字に変更。さらに2007年1月号（221号）から版型をタブロイド判に、用紙をコート紙にしました。2005年1月号（209号）

を初めてカラー印刷で発行する。2006年9月号（219号）で夏まつり号もカラー印刷にして、年2回カラー印刷となる。自治会35周年記念で、創刊号から220号までの「みんな

の会報」の合本を2部、製作しました。2003年7月から自治会のホームページ開設。3号棟の集会所、自治会事務所がリニューアル（2008年7月）。

